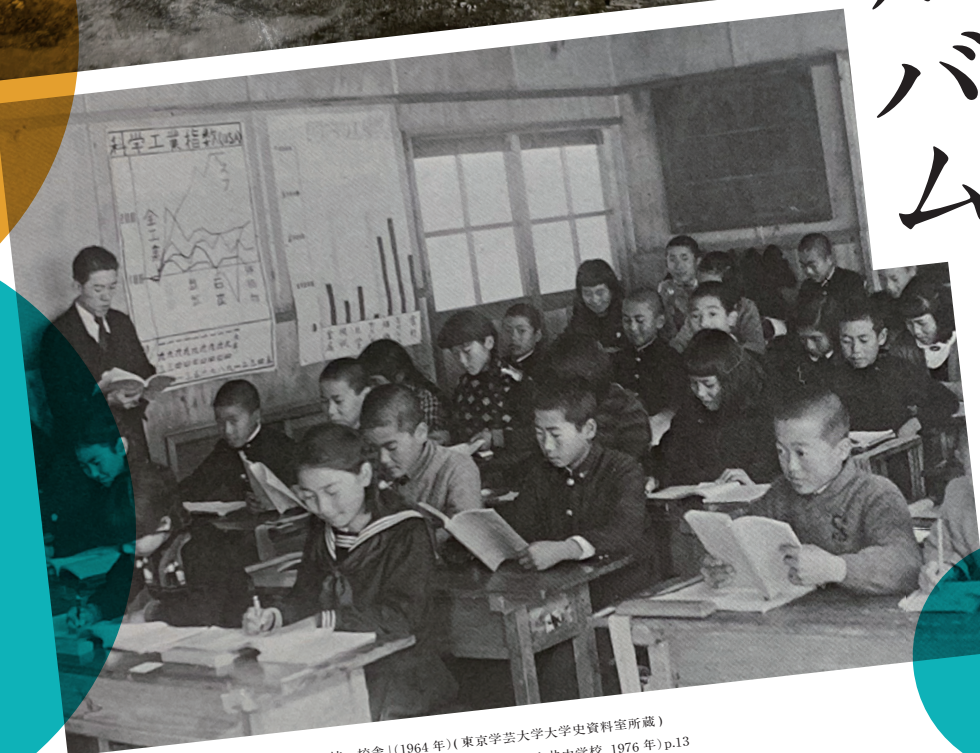


東京学芸大学大学史資料室常設展示

Gakugei  
Album  
2024  
Summer

東京学芸大学  
の  
あ  
ゆ  
み  
學藝  
ア  
ル  
バ  
ム



- 写真上:「東京学芸大学附属小金井小学校・校舎」(1964年)(東京学芸大学大学史資料室所蔵)
- 写真下:「社会科授業」(1950年)「三十年のあゆみ」(東京学芸大学附属小金井中学校、1976年)p.13

草創期小金井地区の附属小・中学校

【会期】2024年7月2日(火)～9月27日(金)

【時間】[平日] 10:00～16:00

【場所】東京学芸大学附属図書館3階 大学史資料室

【問合せ先】東京学芸大学大学史資料室 [電話] 042-329-7277

[メールアドレス] shiryou@u-gakugei.ac.jp



東京学芸大学  
大学史資料室  
Office of Tokyo Gakugei Univ. Archives



## 大学史資料室常設展示によせて

東京学芸大学大学史資料室は、2021 年度より新たな試みとして、附属図書館 3 階に事務室と閲覧室を開設して、常設展示を行っています。これによって、大学史資料室の役割と機能は一層高まることとなりました。大学史資料室は、本学の運営及び教育研究等に関する重要な資料、また本学の歴史に関する重要な資料をそれぞれ調査・収集し、その資料の整理、保存及び公開を行うことを任務として出発しました。これは、わが国の教員養成の中核をなしてきた本学の位置を鑑みれば、明治期以来の日本の教員養成の歩んできた歴史の資料を調査・収集し、それを保存・公開していくことと重なります。その意味で、常設展示の実現は、整理・保存してきた資料を継続的かつ安定的に公開する機会を用意できたものであり、その意義は非常に大きいといえます。

常設展示は、年間テーマを設定し、1 年間で 4～6 月、7～9 月、10～12 月の三期に分けて展示内容を換えて行っています。そしてこれを 2 年サイクルで回し、1 年目のテーマは「師範学校の歴史をふり返る」、2 年目は「東京学芸大学のあゆみ」とし、戦前から戦後の本学と教員養成の歴史を辿ります。

2024 年度の年間テーマは「東京学芸大学のあゆみ」で、第二期は 7 月 2 日から展示を開始します。今回のタイトルは「草創期小金井地区の附属小・中学校」です。この展示では、東京学芸大学附属学校・園の歴史について、草創期の附属小金井小学校と附属小金井中学校に焦点を当てて、両校のあゆみや児童・生徒たちの活動や生活、教育研究活動について、当時の写真や資料から紐解いていきます。附属小金井小学校に関しては、そのルーツである東京府豊島師範学校附属小学校(後の東京学芸大学附属豊島小学校)、東京第二師範学校女子部附属小学校(後の東京学芸大学附属追分小学校)に関する諸資料も含めて展示をします。展示資料は、附属小金井小学校に関するものとして、豊島・追分・小金井の各附属小学校の『学報』や児童による文集、『一字荘生活日誌』や『至楽荘生活日誌』など林間・臨海学校の記録などです。また、附属小金井中学校に関するものとしては、『生徒会誌』や生徒会新聞『あゆみ』など生徒会活動に関する資料、1950 年代の教育実習指導案など、多岐に亘ります。

昨年度、東京学芸大学は、1873 年に東京府小学教則講習所として設立されてから 150 年目の「創基 150 周年」を迎えました。常設展示は、東京学芸大学とその前身校、附属学校・園の歴史を振り返るものです。私たちは、過去から未来へと、小さくとも確実な歩みを進めています。ぜひとも、本学学生、卒業生、教職員、そして関係者のみなさんには、常設展示に映し出される東京学芸大学の歴史とそこで学んできた学生の姿に想いをはせていただければと存じます。

2024 年 7 月 2 日

東京学芸大学大学史資料室長  
副学長・附属図書館長

川手 圭一

Gakugei  
Album  
2024  
Summer

東京学芸大学のあゆみ  
學藝アルバム

